

# 部門別概況

## 「エネルギー関連事業」を展開する新セグメント体制

「電気」「熱」エネルギー技術を要として「エネルギー関連事業」を展開する体制整備に向け、2012年4月、セグメント変更を実施しました。

新セグメントでは、発電から需要家に電力を供給するまでのスマートコミュニティ全体の事業を担う「発電・社会インフラ」部門、電気エネルギー技術と「冷熱技術」を融合させ、新しい商材を開発し事業展開を図ることを狙いとして店舗流通と自販機部門を合体させた「食品流通」部門を新設しました。器具事業を組み入れ、パワエレ機器とのシナジーによる事業強化を狙った「パワエレ機器」部門、ならびに従来の産業インフラ（産業システム）部門、電子デバイス部門を加えた、5つの事業部門により新セグメントは構成されます。

サブセグメント（分野）／主要製品

### 発電・社会インフラ

発電プラント	火力・地熱・水力発電設備
	原子力関連機器
社会インフラ	エネルギーマネジメントシステム
	送変電設備
	電力量計
	放射線管理システム 輸送システム

### 産業インフラ

産業プラント	産業用ドライブシステム
	プラント制御システム
	計測システム
ファシリティ	産業電源 民需向け受変電設備

### パワエレ機器

ドライブ	インバータ・サーボ
	モータ
	EV用システム
パワーサプライ	無停電電源装置 (UPS)
	パワーコンディショナ (PCS)
器具	受配電・制御機器

### 電子デバイス

半導体	パワー半導体
	感光体
	太陽電池
ディスク媒体	ディスク媒体

### 食品流通

自販機	飲料・食品自動販売機
店舗流通	流通システム
	ショーケース
	通貨機器

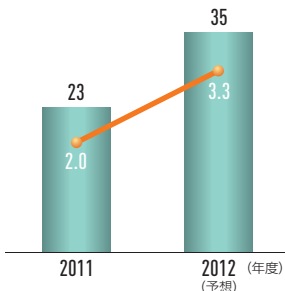
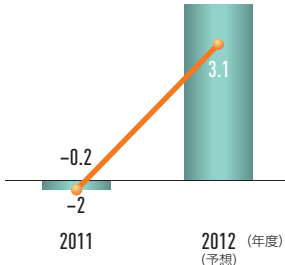
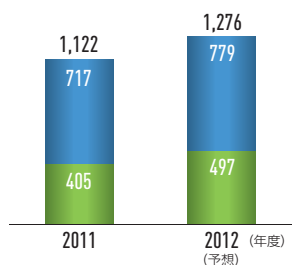
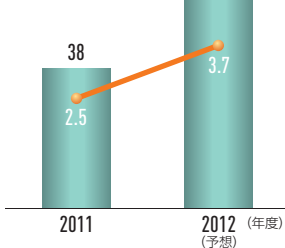
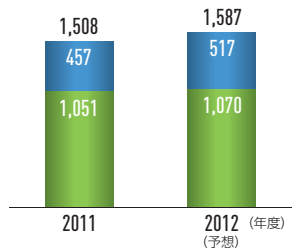
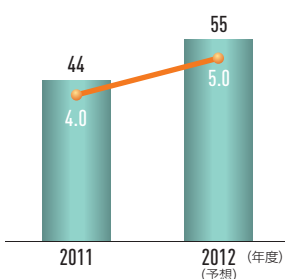
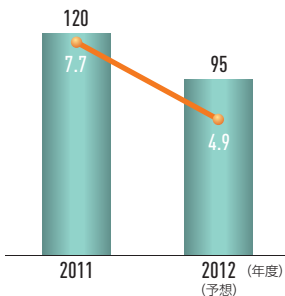
### 売上高

(億円) ■ 国内 ■ 海外



### 営業利益／営業利益率

(億円) (%)



## 3カ年ローリングプラン

(2012年度～2014年度)

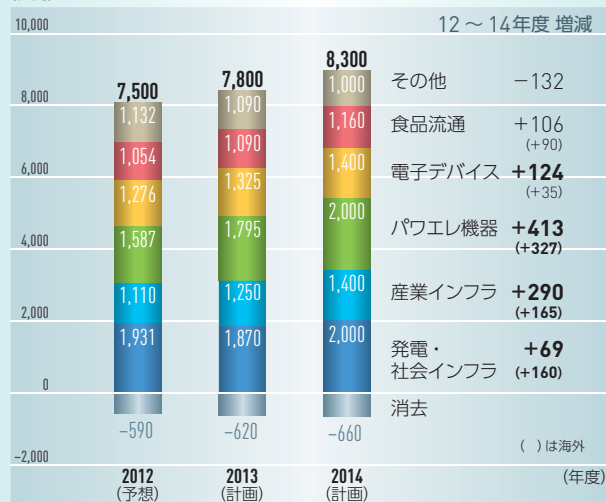
2012年度からの3カ年において、2014年度の売上高は、2012年度と比較して11%増の8,300億円、営業利益は同52%増の350億円を計画しています。

部門別では、当社のパワー半導体を適用したパワーエレクトロニクス機器製品を中心にインフラ関連事業（発電・社会インフラ、産業インフラ）の売上拡大を目指します。なかでも、発電・社会インフラ、産業インフラ、パワーエレクトロニクス機器は、海外売上高の大幅な拡大を計画しています。

営業利益は、2011年度に損益が悪化した電子デバイス、パワーエレクトロニクス機器が大幅に改善し、各部門とも利益が拡大する計画としています。

### 売上高

(億円)



### 営業利益

(億円)

